

traditional handicrafts

of SYRIA

帝京大学総合博物館

シリア の伝統工芸

2025.10/25 (土) ~ 2026. 3/31 (火)

会場： 帝京大学総合博物館 常設展示室 (八王子キャンパス ソラティオスクエア B1 階)
開館日： 月曜～土曜 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで) 入館無料
休館日： 日曜・祝日・年末年始 11/15 (土)、11/22 (土)、12/13 (土)、1/17 (土)、1/31 (土)、2/21 (土)
* 特別開館 10/26 (日)
交通案内：高幡不動駅／聖蹟桜ヶ丘駅／多摩センター駅からバスで 15-20 分
主催： 帝京大学やまなし伝統工芸館



利用案内・アクセス

* この企画展は、帝京大学やまなし伝統工芸館で開催された企画展 (2025 年 5 月 16 日～8 月 8 日) の巡回展です。

中東にシリアという国があります。シリアでは、世界で最初に農耕がはじまり、都市がうまれて文明がさかえ、さまざまな民族や宗教のひとびとが共存してきました。日本人にもパルミラ遺跡は人気の観光地で、ダマスク・ローズの香水やアレppoの石けんなどが有名です。

シリアでは 2011 年、独裁政権が民主化をもとめるデモを弾圧したことから内戦がはじまります。それから 13 年のあいだに 60 万人以上が亡くなり、1400 万人以上が難民となりました。もちろん観光客もこなくなり、伝統工芸の職人たちも、多くが故郷をはなれざるを得ませんでした。

そして 2024 年 12 月 8 日、ついに独裁政権が崩壊し、シリアは 50 年以上にわたる抑圧から解放されました。国中が瓦礫の山となり、インフラはずたずたに破壊されていますが、シリアの人々はそこから新しい国をつくろうとしています。

この企画展では、シリアの伝統工芸になう 4 人の作り手たちを、彼らの作品とともに紹介します。かれらは難民となって全てを失いながらも、避難先でゼロから生活を立てなおし、伝統を守りつづけたばかりか、苦境の中で新しいアイデアを次々と生み出し、伝統工芸の可能性を広げてきました。

これらの工芸品は、かつてシリアの日常の一部でした。国が復興し、ふたたび伝統工芸が身近な風景となる日まで、長い道のりが待っています。しかし、戦災や迫害を乗り越えたかれらの作品は、シリア人のバイタリティと柔軟性を物語っています。

Syria is a Middle Eastern country. Here, agriculture first emerged, the world's oldest cities developed, civilizations flourished, and diverse peoples coexisted. The Roman city of Palmyra has been attracting many Japanese tourists, and so have damask roses and Aleppo soap, popular as souvenirs.

In 2011, the government brutally crushed the democratic uprising, plunging Syria into a long, bloody war. Over the next 13 years, over 600,000 people have been killed, over 14 million were forced from their homes, and many traditional handicraft artisans were compelled to flee abroad.

On December 8th, 2024, Syria was liberated from a dictatorship that had lasted more than 50 years. Syrians are now starting to build their own country on countless heaps of rubble and completely demolished infrastructure.

This exhibition introduces the four Syrian artisans and their crafts. They were forced to flee their hometowns, become refugees, lose everything, and start from scratch in foreign countries. They have been more than preserving Syrian traditional handicrafts; they have opened new possibilities for tradition, creating innovative ideas and designs.

Their work was once a part of their daily lives in Syria. It will take a long journey before Syria revives and traditional handicrafts once again become part of everyday life. However, their works demonstrate the vitality and creativity of the Syrian people who overcame the age of suffering and oppression.



イブラワハイト Ibra wa Khayt

シリア刺しゅう、アクセサリ等を販売。結婚式や引き出物などの特注も可能。

Facebook : <https://www.facebook.com/Iburawahaito>

公式オンラインショップ : <https://ibrawkhait.thebase.in/>

取り扱い店舗：古代オリエント博物館（池袋）など



アレppoの石鹸職人から（クロスロードトレーディング）

バラカート社のアレppo石けんをお手頃価格で購入できる。

公式サイト : <https://aleppo-shokunin.shop/>

アマゾン : <https://www.amazon.co.jp/s?sr=8420731051>



ダマシュキエ Damashquie

アブドゥルラフマーン氏の寄木細工とマクシム氏の螺鈿細工の小物やアクセサリを販売。ネームプレートなど特注も受け付ける。イベントへの出店も多数。

Facebook : <https://www.facebook.com/Damashquie/>

公式オンラインショップ : <https://damashquie.com/>

